

令和 4 年度
第 3 回 那覇市観光審議会
会議録（要旨）

那覇市役所 経済観光部 観光課

令和4年度 第3回那覇市観光審議会

1. 日 時：令和4年7月5日(火) 14:00～15:30

2. 場 所：那覇市役所5階 庁議室

3. 議題

答申内容の審議

令和4年度 那覇市観光審議会答申（案）

「那覇市コロナ期観光回復戦略の進捗評価と今後の取組に関する提言について」

4. 報告

那覇市 MICE 受入に関する取組について

5. 連絡事項

令和4年度観光審議会開催スケジュール（予定）

「那覇市観光基本計画の検証について」

◆配布資料

資料1 令和4年度那覇市観光審議会答申（案）

「那覇市コロナ期観光回復戦略の進捗評価と今後の取組に関する提言について」

資料2 那覇市 MICE 受入に関する取組について

那覇市観光審議会委員名簿

NO.	委員氏名	所属	役職等	選任理由	備考
1	キンジョウ モリヒコ 金城 盛彦	国立大学法人 琉球大学	教授	学識経験者	大学
2	オオタニ ケンタロウ 大谷 健太郎	公立大学法人 名桜大学	教授		大学
4	ヨザ ヨシヒロ 與座 嘉博	日本旅行業協会(JATA) 沖縄支部	支部長	観光産業関係	旅行業
5	キンジョウ ウヒトシ 金城 仁	那覇市観光ホテル旅館事業協同組合	副理事長		宿泊業
6	クニヨシ ヒロキ 國吉 博樹	沖縄セルラー電話株式会社	執行役員ビジネス開発部長		情報関連産業
6	インザカ アキヒロ 石坂 彰啓	那覇市国際通り商店街振興組合連合会	事務局長		商店街
8	ゲイダ ヨシハル 慶田 佳春	一般社団法人沖縄県バス協会	専務理事		公共交通
9	ヨナ カズマサ 与那 和正	沖縄県飲食業生活衛生同業組合 那覇支部	理事		飲食業
9	アリキ マリ 有木 真理	株式会社リクルートライフスタイル沖縄	代表取締役社長		広告 企画調査
10	イシミネ トモヒロ 伊志嶺 友浩	内閣府沖縄総合事務局 運輸部 観光課	観光課長	関係行政機関	国
11	マトリ ヒロキ 真鳥 洋企	沖縄県文化観光スポーツ部	観光政策統括監		県
12	メジマ ノリヒロ 目島 憲弘	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー	事務局長	その他市長が 認める者	OCVB
13	ナカモト ユタカ 名嘉元 裕	一般社団法人 那覇市観光協会	事務局長		観光協会

出席者

○審議会委員

13人中7人出席

金城会長、有木委員、石坂委員、慶田委員、名嘉元委員、
與座委員、与那委員

○那覇市

[経済観光部] 末吉部長、高宮副部長

[観光課] 永山課長、宮城主幹、長濱主査、城間主事

[商工農水課] 町田課長、比嘉主幹、照屋主幹

[なはまち振興課] 玉城主幹

議題 答申内容の審議

令和4年度 那覇市観光審議会答申（案）

「那覇市コロナ期観光回復戦略の進捗評価と今後の取組に関する提言について」

発言者	発言内容
事務局	資料に沿って説明。 資料1 那覇市コロナ期観光回復戦略の 進捗状況に対する観光審議会委員評価及び提言シートの集約
会長	ご説明ありがとうございます。 進捗評価ですが、事務局からの説明のとおり、各委員からの評価の多数決により、総合評価が資料1のページ1のとおりになっております。 各委員の評価にバラつきのある取組内容もあるようですが、こちらの結果に意義はございませんでしょうか。 委員意義なし
委員	6頁目のテーマ1、一番最後の「取組評価が困難」とだけ記載されていると、前後の文脈が不明なので事務局で付け足してはどうでしょうか。 具体的な施策についてです。例えば、都市型 MICE 受入の推進について、なは一とへヒアリングした。都市型 MICE の捉え方が人によって違う。可能であれば MICE 「等」との認識で進めた方が進めやすくなるのではないかと感じました。 MICE 施設情報、コンテンツ・集約発信などがあるが、システムを導入し、那覇市としてワンストップのインフォメーション発信ができるといいと感じています。 デジタル技術活用促進については、国際通りで進めているバーチャル沖縄の取組があります。国際通りと首里城がバーチャルの世界で再現されています。国際通りをアバターで散策しながら、空にはジンベイザメがいる、お店で買い物ができるといったもの。首里城に続き、リアルとデジタルの融合でプロモーションにもつながり、経済効果も生み出せるのではと思います。
会長	SBM クラウドとは？
委員	個人の集まりである MICE には適格と考えているシステムです。個人の航空便・宿泊施設などを管理でき、それぞれの催事に適した施設紹介ができる。那覇市が導入すれば、部署間の連携も取ることができる。MICE 推進には必要かなと思います。
委員	資料1の7頁目です。事業者への支援を強く展開、行政が主体的に実施していく、2つの表現となります。そうすると、ポツ1 について事業者への支援が強い、行

発言者	発 言 内 容
委員	政としても賑わいやそれから波及する経済効果の高まりを期待することを追記した方がいいのではと考えております。 それ以降は事業者への支援、行政の主体性を求める内容が入っていますが、1 ポツ目だけが見られなかったのもので、これは意見として述べます。 レンタカー不足対策についてですが、運行ルート構築だと時間が掛かるので、「〇〇でも楽しめる那覇市」であることを早々に進めるべきです。例えば、モノレールだけでも楽しめる、ということをプロモーションしていくべきです。
委員	運行ルート構築、周遊バスを走らせるのは時間が掛かります、市内のバスやモノレールを活用していただきたい。那覇バスに加えて周遊バスを走らせるとなると影響を与えることになります。 過去に市内の観光周遊バスの計画がありましたが、定期観光バスはキロ当たり 30 何銭となる。市内では 500 円くらいしか運賃は取れない。それに燃油量や人件費を載せると儲からない、という経緯があります。 運行ルートというと、市内線の観光客に優位なルート変更は手続きが必要。ですので、モノレール・バスの市内線、一部市外線の活用を検討していただきたい。 また、資料 1 の 3 頁ですが、私は高く評価できている。実際に参加したが宜野湾市や他市でも周知できていました。「周知が一部の観光客に限られたものと思われる」という評価は的外れかなと思います。
委員	宿泊の需要が上がれば飲食も上がると思われますので、飲食についても触れていただければと思います。全体として飲食業界は 7 割ほどしか客は戻っていない、回転していたら人件費がかかるのでその支援、その辺りをいれていただけたらと思います。
委員	事務局に確認ですが、評価の A～E の設定手法はどうなっていますか。先ほども意見がありましたのが、高く評価という評価もあったと思いますが、その設定はどうなっていますか。
事務局	A～E は各委員の皆様から最も多かった評価を採択しています。当該感染対策に関しては A が 6 名、B が 7 名でしたので審議会としては B の評価となっています。
会長	意見が分かれたことが分かるようにして欲しいと思います。評価者の人数も明らかにしてはどうでしょうか。拮抗した意見であることが分かるように。

発言者	発 言 内 容
事務局	Bの「ある評価できる」の横に内訳を記載したいと思います。
委員	提言内容踏まえると第2回の各委員の意見が満遍なく網羅されていると感じるが、提言書を出した後の市の動きを知りたい。取組を進める施策・プライオリティなど、R5年度の施策となりますか。R4年度の補正予算で取り組んでいくのかイメージをお聞かせいただきたい。
事務局	1 優先的に実施が～ の中で、9月補正の中にMICEに関する取組を一つ調整中です。その他も、R5年度の取組に向けて事業者様からのご意見も聴取しながら調整中です。
会長	7頁以降、MICE「等」の表記にすべきとの話がありましたら、こちらはいかがでしょう？
事務局	なは一とにヒアリングされたと思っておりますが、今後庁内でMICEについての考え方を統一していきたいと思いますので、事務局としては「MICE」のままでいきたいと思います。
委員	MICEの定義があると思うが、議論が難しいと思う。この会議が何に分類されるものか？を議論するのは難しいと思う。共通認識として持てるのであれば良いですが。
会長	国が示しているMICEの定義などを参考にしていいただければと思います。
委員	7頁に市内への誘客とありますが、観光消費に繋がるということになるのではと思います。今回は回復戦略に対する答申ですので、できるだけ迅速に、適時に、強力にという意味合いがあります。本文2頁に、「実施までを求めます」ということを追記してはどうでしょうか。強く求めること、迅速に行うこと、を示せるのでは、これまでの議論の中でも再三出ていたところ です。
会長	迅速な対応ということでは、記憶に残すこと、公共交通のところに既存ルートの再検討、プロモーションという文言を入れた方が良いかもしれません。
委員	市内貸切バスへの支援には感謝しております。これを継続して実施していただきたいことを7頁以降に反映されているのか、8頁には業界の公平性に配慮した支援、ということに含まれているのか、はっきりさせていただければと思います。

報告・連絡事項

那覇市 MICE 受入に関する取組について

発言者	発 言 内 容
事務局	資料に沿って説明。 資料 2 那覇市 MICE 受入に関する取組について
委員	都市型 MICE の幹事会メンバーはどんな感じになっていますか？
事務局	幹事会は各課の課長級職員で構成を予定してます。MICE 関連で活用できる施設に係る課を構成員として立ち上げていく予定となっております。
委員	大きいところでいえば、6,250 名規模の会議ができると試算しています。 経済効果に関しても、従来の外国人観光客と比べて消費額が大きい、外国人参加者に限っては倍以上と発表されています。 このようなデータを使って、予算要求等を行っていただければと思います。
会長	MICE の経済効果算出は観光庁が示していますのでご参考にしてください。沖縄県の場合、I/E が中核になっているので、そのようなことを認識した上で動いていた方が良くかなと思います。M・C はなかなか難しいと思います。
委員	市の施策ではありますが、アフター・マイスの政策においては、慶良間諸島や空手会館を含めて、那覇市+αの地域も含めて検討できるような考え方をもっていなければ楽しみの幅は広がらないと感じます。 泊港から慶良間諸島へは行けますので、そのようなことも踏まえて施策検討進めてください。
事務局	MICE に関して補足します。公の施設と民間の施設を併せて推進していきたいと考えております。市内でも楽しめる施設は揃っていると感じておりますので、庁内の意思統一を図った後に、民間事業者様との連携も進めていきたいと考えております。 セルラースタジアムなど、受付窓口の統一、減免の基準など統一していきたいと考えておりますので、整いましたら改めてお示しできればと思います。
事務局	(連絡事項) 令和 4 年度観光審議会開催スケジュール (予定) 「那覇市観光基本計画の検証について」
委員	那覇市観光基本計画と提言書の関係ですが、今後の審議会では、提言書のフィードバックをお願いしたいと思います。委員が出した意見に対するフィードバック、その意見を基本計画に取り入れる、どうするか、というところまでお示しいただければと思います。
会長	開催には審議会のオンライン開催も検討してください。コロナの影響どうこうというよりも、これからの時代に合わせた開催方法のご提案です。